



市内の気になる話題をご紹介します。

4/19 避難所に公衆電話設置 災害時、通信手段を確保

災害時の通信手段を確保するため、指定避難所に特設公衆電話を設置する覚書を、NTT西日本岐阜支店と下呂市が締結しました。

特設公衆電話は、災害時優先電話で通信制限が行われてもつながりやすく、通信料は無料、発信専用のもの。覚書により、避難所25カ所にNTTが回線を敷設し、市が電話機を準備。8月から使用できるようになります。



覚書に署名するNTT西日本岐阜支店の米田支店長と服部市長＝森、下呂庁舎

4/23 色とりどりの花を楽しむ 「飛騨小坂はなもまつり」

道の駅「南飛騨小坂はなもも」で、飛騨小坂はなもまつりが催されました。

この一帯は、地元有志の「赤沼田はなももの里を育てる会」が、10年ほど前から約800本のはなももを育てており、赤や白、ピンクの花が咲き始める中、赤沼田神楽保存会の獅子舞やバルーンアートの実演、バザーなどを、大勢の観光客や家族連れが楽しみました。(表紙記事)



好天の下、地元で丹精したはなももを眺めながら食事を楽しむ家族連れ＝小坂町赤沼田、道の駅南飛騨小坂はなもも

4/22・23 高校生が小坂町の魅力を発信 「地域おこし映画」撮影

益田清風高校生による小坂町の”地域おこし映画”の撮影が行われました。

映画を通して小坂町の魅力を発信し地域活性化につなげようと、高校生が監督、スタッフ、役者などを務めて製作されます。

小坂町の観光名所などを舞台に撮影され、編集作業が行われた後、8月末に完成、9月ごろに上映を予定しています。



撮影現場でカメラマンと真剣に打ち合わせをする益田清風高校の生徒ら＝小坂町大島、JR飛騨小坂駅

5/3 透き通った馬瀬川で 大物のアマゴを狙う!

馬瀬中切地内、豊年橋から神手橋付近で馬瀬川あまご釣り大会が開催されました。南飛騨馬瀬川観光協会が主催で行われ、市内外から233人が参加。馬瀬産のアマゴ500キロを放流し、一般男性・一般女性・中学生以下の各部で一匹の体長を競いました。表彰では、30センチを超える大物のアマゴが並び、大勢の参加者でにぎわいました。



大自然に囲まれ、アマゴ釣りを楽しむ参加者＝馬瀬中切、馬瀬川